

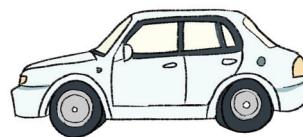
し 知っていると便利! にほんごの オノマトペ

だい 第4回 くるま
かい 車

こうえきしゃだんほうじん こくさいにほんごふきゅうきょうかい 武田 由美 イラスト: リオ輔

①

ブーブー



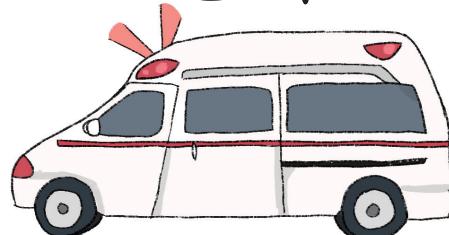
①あか赤ちゃんやまだ幼い子供に話すとき、大人は「ブーブーが来るよ」と言います。車のことを「ブーブー」と言います。「ブーブー」は車が走るときの音のオノマトペです。赤ちゃんもお母さんの真似をして「ブーブー」と言います。

「車」だけではなくて、豚のことも「ブーブー」と言います。これは豚の鳴き声のオノマトペです。「車」や「豚」という言葉をまだ知らない赤ちゃんもオノマトペを使って、話すことができます。便利ですね。

②また、車のサイレンの音も言葉で言ったり、書

②

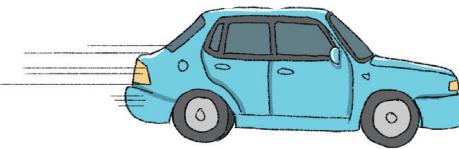
ピーぽー
ピーぽー



いたりすることができます。例えは、救急車のサイレンの音は「ピーぽーピーぽー」と言います。「ピーぽーピーぽーが聞こえます! (救急車は)どこですか?」のように使います。「あっ、ピーぽーピーぽーが来た!」と言うだけで、私たちには「救急車が来た」と言わなくても、救急車が来たことがわかります。警察の車や消防車もサイレンを鳴らして走ります。警察の車のサイレンは「ウ~ウ~」、消防車のサイレンは「カンカンカン」とか「ウ~カンカンカン」と言いますが、あまり使いません。救急車の音「ピーぽーピー

③

ビュンビュン



ノロノロ



「ぽー」はよく使います。
③車のスピードを表すオノマトペもあります。高速道路などで車のスピードがとても速いときは「ビュンビュン走っている」と言います。反対に、とてもスピードが遅いときは「ノロノロ走っている」と言います。「ビュンビュン」や「ノロノロ」は車だけではなくて、自転車が走っているときに「自転車でビュンビュン走ったら、危ないですよ」と言ったり、「カメはノロノロ歩く」と言ったり、自転車や動物の進むスピードにも使うことができます。

オノマトペとは

日本語には、たくさんオノマトペがあります。日本人はいつもオノマトペを使います。オノマトペを使うと、楽しく話すことができます。

オノマトペは、音や声、様子を言葉で表したもので、「ドアをトントンたたきます」や犬が「ワンワン鳴いています」、「星がキラキラ光っています」のように使います。オノマトペは「擬音語」「擬声語」「擬態語」とも言います。